

# 新しい義務教育の姿とは

中田 幸子

**問** 次代を担う子どもたちの義務教育の役割は重要であり、基盤整備は必要である。

特に教職員の養成や配置等の在り方が考えられ、子どもたちの人格形成におおきな影響を与える。義務教育の在り方を伺う。

- ① 信頼される教師の養成確保と資質向上
- ② 教師の免許制度の改革と免許更新制
- ③ 教育内容の改革
- ④ 教員評価の改善・充実
- ⑤ 過激な性教育とジェンダーフリー教育
- ⑥ 保護者や地域住民の学校運営への参画

# 教員の資質向上と人事評価の推進

教育長

**答** ①教育の在り方を左右するのは教師の資質であり授業力向上と職場のチームワークの形成である。

- ② 免許制度は現職教員の資質能力の保持と関連し検討は必要。
- ③ 課題は確かな学力向上と豊かな心の育成で来年度からキャリア教育実施。
- ④ 県内小中高で人事評価制度が本年度より試

行され、マネジメントと業績評価を柱とする。

- ⑤ 保護者への説明や懇談会を実施・指導していく。
- ⑥ 学校評議員会では地域のご意見を聞き、学校運営に反映している。



北野小学校

# 元気な高齢化社会の支援について

矢野 隆行

**問** ①豊積の里さざなみホール使用料が、昨年と同条件でなぜ倍の料金になったのか見解を伺う。

遠征の手助けはできないか見解を。

# 元気カード配布等で市民健康福祉部長 支援は

市民健康福祉部長

**答** ①発表会の企画内容の関係で前回とは異なり音響、照明の技術スタッフの2名が外部発注となり、このため追加料金が加算された。

③高齢者層のスポーツとしてグラウンドゴルフ、ペタンク、ゲートボールがあり、いずれのグループも市体育協会に加入されており、それぞれの団体が自主的な運営活動をされている。

②高齢者の活動団体に対しての遠征支援としては現在特に行っていないが、市バスによる送迎については、大型バス等あるいは福祉バス管理運営規則の範囲で市民の方に利用いただいている。なお、高齢者の方へは、げんきカード配布による市内スポーツ施設や循環バスの無料化などに取り組んで

## その他の質問

- 問** 特定非営利活動「車椅子レクダンス普及会」を市として、認定団体にできないか。
- 答** 今後も支援が図れるものと考えている。
- 問** 学校施設の整備はどのような計画で整備されているのか。
- 答** その状況を十分に精査し、緊急度の高い施設を優先に施設整備に努めている。



雨の中主小学校グラウンド



# 介護保険は 広域で運用を

本田 章 絃

**問** 介護保険料は、今回  
の改正において平均月額  
が「4400円」と高負  
担となっている。湖南4  
市の広域行政で介護保険  
の運用を行い、煩雑にな

# 湖南4市において引き続き検討 市民健康福祉部長

市民健康福祉部長

**答** 広域化は保険料の平  
準化、認定の格差や誤差  
の低減、そして業務の統  
一で経費削減は図れる。  
広域化は細部にわたり  
困難な課題に取り組むこ

# 預かり保育には適切な要因確保を

**問** 三上幼稚園で新しく  
進める預かり保育は、適  
切な要因確保が必要であ  
る。

先に実施されている中主  
幼稚園の現状は、長時間

# 要員ゼロでも預かり保育は可能 教育長

教育長

**答** 十分検討した要員計  
画で、中主幼稚園は4名  
の減員、三上幼稚園はゼ  
ロで問題なく可能である。  
(4名の減員が適切であ  
るとして)中主幼稚園の  
保育要員は、その後の審  
議で2名の減員に修正さ  
れた。



る事務経費の効率化や負  
担の平等性・利便性の向  
上を図ってはどうか。

とになるが、各市の厳し  
い財政事情から業務の見  
直しが必要であるとの認  
識で、次期の期間で提起  
していきたいと考える。

労働や休憩が取りにくい  
状況で、労基法の面から  
も問題ではないか。現場  
と協議した適切な要員確  
保が必要で「減員または  
ゼロ」の根拠を尋ねる。  
が、職員の休憩時間は、  
園長の責任において指導  
している。

# 幼稚園登園方法の 状況と子育て支援策は

奥村 治 男

**問** 長浜での2児殺害事  
件は大きな衝撃を与えた。  
次の点について伺う。  
①グループ登園はあるの  
か。ある場合、事件を踏  
まえ、どのように対応す  
るのか。ない場合現状で  
の問題点、改善点は。

②保護者の不安をキャッ  
チし、適応な対応のため  
関係機関との連携は。  
③子育て支援は地域で行  
う必要がある。子育て支  
援センターの現状と課題  
は、子育てサークルやサ  
ロン活動への支援策は。

# 18年度から保護者の責任で 個人通園を基本とする予定 教育長

教育長

**答** ①市内幼稚園6園  
のうち4園がグループ  
通園で、保護者は半強  
制的な捉え方をしてい  
た。教育委員会は重大  
に受け止め、18年度か  
ら個人通園を基本とす  
る予定である。

の利用者や相談は年々  
増加している。  
課題は家に閉じこも  
りがちな親子への対応  
であり、サークルやサ  
ロン活動の支援は各地  
域で民生児童委員やボ  
ランティアを中心に支  
援活動が展開されてい  
る。



三上幼稚園

②不安感が高かったり、  
問題を抱えている保護  
者には教務主任や園長  
が相談に当り、更に支  
援が必要な場合、心理  
判定員等に対応を求め  
ている。  
③子育て支援センター



通園風景



## その他の質問

- 問** 就学援助の実情と運用の方向性は。
- 答** 国の税源移譲により、実情に応じた認定・支給を行っている。
- 問** 法定外公共物・市有地の払下げ促進は。
- 答** 売却可能物件から、随時売却処分する。